

ホタテガイ採苗速報

青森県
東青地方水産事務所
下北地方水産事務所
水産振興課

青森市水産振興センター

成熟は西湾、東湾ともに平年並み

令和5年1月6日から11日にかけて湾内4地点で養殖2年貝の成熟度調査を行ったので、その結果をお知らせします。

1 ホタテガイ成熟度調査結果

養殖2年貝の生殖巣指数は、西湾平均12.2、東湾平均15.8とそれぞれの平年値（平成5～令和4年の同時期の平均値）13.5、17.2とほぼ同じ状況です（図1、2）。異常貝率は、西湾平均16.7%、東湾平均20.0%とそれぞれの平年値7.4%、2.4%よりかなり高い状況です。なお、この異常貝率にはイソギンチャク類およびサンカクフジツボの付着による割合（青森市奥内30.0%、野辺地町3.3%）が含まれます。各地の測定結果は表1のとおりです。

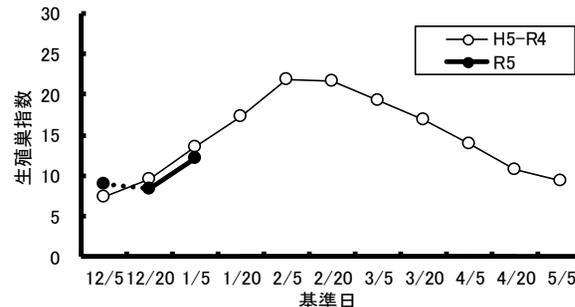


図1 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(西湾平均)

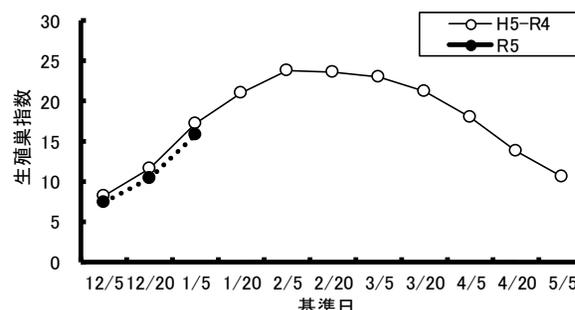


図2 養殖2年貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

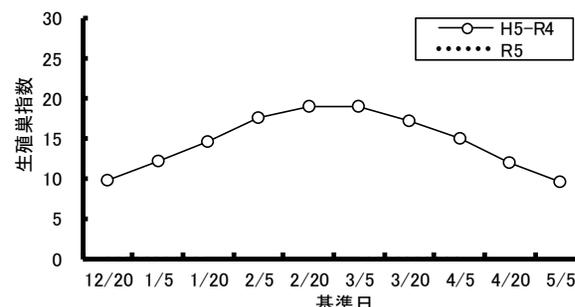


図3 地まき貝の生殖巣指数の推移(東湾平均)

※調査地点が1地点の場合は破線。

2 海況

15m層の1月第2半旬平均水温は、平館ブイ、青森ブイ、東湾ブイのすべてで平年並みとなっています。

3 今後の見込み

成熟は西湾、東湾ともに平年並みとなっています。産卵時期については、今後の情報を参考にしてください。

なお、秋季養殖ホタテガイ実態調査時の親貝数は1億165万枚で、採苗不良年であっても採苗器1袋当たり2万個の稚貝が確保できる親貝数の目安（1億4千万枚）より少なくなっています。今後シケが連続するとへい死し、親貝数が減少する恐れがありますので施設を安定させることが重要です。詳しくは、令和4年12月1日に発行したホタテガイ養殖管理情報第6号を参考にしてください。

表1 垂下養殖2年貝の測定結果(調査基準日 1月5日)

調査地点	調査日	殻長 (cm)	全重量 (g)	軟体部重量 (g)	軟体部指数	生殖巣重量 (g)	生殖巣指数	へい死率 (%)	異常貝率 (%)
蓬田村	1月11日	10.1 (10.1)	97.6 (108.8)	40.7 (41.9)	41.7 (38.6)	5.4 (5.3)	13.0 (12.4)	0.0	0.0 (2.8) 【0.0】
青森市奥内	1月6日	9.3 (10.0)	91.2 (112.8)	32.1 (38.9)	34.9 (34.4)	4.2 (5.6)	12.8 (13.8)	31.4	36.7 (6.5) 【30.0】
久栗坂実験漁場	欠測								
平内町浦田	1月10日	9.3 (9.6)	84.3 (97.6)	31.0 (37.6)	37.0 (38.2)	4.0 (4.5)	10.9 (11.3)	13.8	13.3 (7.0) 【0.0】
西湾平均		9.6 (10.3)	91.0 (120.4)	34.6 (46.9)	37.9 (38.6)	4.5 (6.8)	12.2 (13.5)	15.1	16.7 (7.4) 【10.0】
野辺地町	1月10日	10.3 (10.3)	119.8 (127.4)	50.6 (53.9)	42.2 (42.2)	8.0 (10.2)	15.8 (18.6)	29.9	20.0 (0.9) 【3.3】
むつ市	欠測								
川内町	欠測								
川内実験漁場	欠測								
東湾平均		10.3 (9.9)	119.8 (113.1)	50.6 (48.2)	42.2 (42.6)	8.0 (8.6)	15.8 (17.2)	29.9	20.0 (2.4) 【3.3】
全湾平均		9.7 (10.1)	98.2 (115.9)	38.6 (47.0)	38.9 (40.4)	5.4 (7.5)	13.1 (15.1)	18.8	17.5 (5.0) 【8.3】

(): H5-R4の平均値

【】: イソギンチャクおよびサンカクフジツボによる異常貝率



①



②